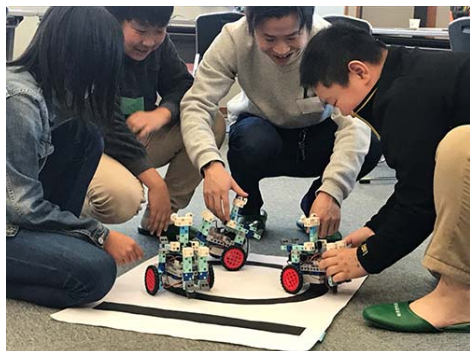


2019年7月23日
株式会社東陽テクニカ

夏の軽井沢で、宇宙を題材に科学への興味を育てる 小・中学生向け体験型学習イベント 「軽井沢宇宙ロボット講座」へ協賛

株式会社東陽テクニカ(本社：東京都中央区、代表取締役社長：五味 勝)は、長野県北佐久郡軽井沢町で2019年8月3日、4日、24日の三日間開催される、小・中学生を対象にした学習イベント「軽井沢宇宙ロボット講座」に協賛いたします。

8月4日に行われる「宇宙工作編・初級 紙飛行機で学ぶ空を飛ぶ仕組み」、「宇宙工作編・上級 滑空モデルの紙飛行機を作ろう！」の二つの講座では当社研究開発フェロー二上貴夫が講師を務めます。



【 軽井沢宇宙ロボット講座とは 】

「軽井沢宇宙ロボット講座」は宇宙を題材にしてテクノロジーに触れ、小・中学生が科学への興味・関心を持つためのきっかけ作りを目指し、一線で活躍する科学者・研究者である専門家を講師に招いて開催される、体験型の学習イベントです。毎年軽井沢で開かれ、2019年で3回目を迎えます。

【 イベント概要 】

イベント名：軽井沢宇宙ロボット講座

Web サイト：https://peraichi.com/landing_pages/view/srak

8月3日(土) 10:00-15:00 宇宙工作編・中級 モデルロケットを打上げよう
対象：小学校4年生から6年生 定員：20名・先着順 講師：國方則和先生（Space PLAN-K／元 JAXA 宇宙教育センター主任） 参加費：材料費込み 12,000円
内容： 【大人気！】毎回満員御礼の本格的なロケット作りが学べる大人気講座♪今回はモデルロケット以外の実験も加わり、パワーアップ★さらに宇宙のことを学べる講座になりました！！

8月4日(日) 10:00-15:00 宇宙工作編・上級 滑空モデルの紙飛行機を作ろう！
対象：(モデルロケット講座に参加した) 小学校5年生から中学生 定員：6名程度 講師：二上貴夫先生（株式会社東陽テクニカ 研究開発フェロー） 参加費：材料費込み 9,500円
内容： ロケットを打ち上げた経験者のための上級講座！ 君の「紙飛行機」の常識を覆すかもしれない、、、?! 空から綺麗に滑空する紙飛行機を作って、飛行機の仕組みを学ぼう★

8月4日(日) 11:00-15:00 宇宙工作編・初級 紙飛行機で学ぶ空を飛ぶ仕組み
対象：小学校1年生から3年生 ※2年生までは保護者の付き添いが必要 定員：15名・先着順 講師：二上貴夫先生（株式会社東陽テクニカ 研究開発フェロー） 参加費：材料費込み 6,800円（大人1名まで無料）
内容： 6歳からの航空宇宙学??! 紙飛行機好きな子も、紙飛行機なんて。。!という君もどうぞ♪みんな知ってる紙飛行機を工学的に紐解き、作って学ぼう★家族の共通趣味が見つかったらかも?!

8/24(土) 10:00-15:00
ロボット制御編 ロボットで惑星探査 (車型ロボットの制御)
対象：小学校4年生から6年生 定員：15名・先着順 講師：香山瑞恵先生・信州大学香山研究室のみなさん 参加費：機材貸出し料込み 6,500円
内容： 宇宙開発にも欠かせない存在のロボット。彼らはどうやって動いているの？「ロボット」の制御を、モデリングの演習を通して学んでいきます。ロボットを動かして、惑星を探査しよう！●と□と→だけでプログラミングしていくので、PC初心者のお子さんもご安心ください♪

主催	軽井沢宇宙ロボット講座実行委員会
開催責任者	あそび堂 住所：長野県北佐久郡軽井沢町長倉 2419-3 TEL：0267-45-6277 E-mail：contact@asobido.com
協力	Space PLAN-K、株式会社東陽テクニカ、信州大学工学部香山研究室、軽井沢 Viitta
協賛	株式会社東陽テクニカ

【 二上 貴夫(ふたがみ たかお)略歴 】

1978年東陽テクニカ入社。主に計測用ソフトウェアと、センサを用いた計測技術の研究・開発に携わる。それらの技術を応用して、情報処理や組み込みシステム分野での教育、文部科学省の教育事業への参画、計測による競技力の向上を目指したスポーツ科学研究など、多岐に渡る活動を続けている。ET ロボットコンテスト技術顧問。信州大学工学部客員教授。

主な活動実績

- 1989年 スピードスケートの科学研究支援を開始
- 1991年 リアルタイムカーネル ChairMan をオープンソース化
- 2000年 英国 MIRA(旧自動車産業研究所)および日本自動車技術会リエゾン
- 2001年 UML ロボットコンテストをスタート、実行委員長
- 2002年 NPO 法人・TOPPERS 理事、監事
- 2003年 IEEE Software モデル駆動開発 ゲストエディター
 NPO 法人・組み込みソフトウェア管理者・技術者育成研究会理事
- 2005年 ET ロボットコンテスト(元 UML ロボットコンテスト)技術顧問
- 2006年 UML 国際標準(ISO/IEC 19501 : 2005)の JIS 化委員
- 2007年 MISRA-C2 英国/日本リエゾンおよびレビュー委員

2008年 東海大学 専門職大学院 組込み技術研究科 教授
経済産業省 IPA 組込みソフトウェア技術者スキル標準キャリア部会主査
2010年 文部科学省マルチサポート事業：「スピードスケート軌跡計測研究」
2014年 IIC(Industrial Internet Consortium)日本リエゾン
2016年 スポーツ庁ハイパーサポート事業：「パシュート計測研究開発」
2019年 文部科学省教育プログラム enPiT 企業側レビュー
信州大学工学部客員教授

<株式会社東陽テクニカについて>

東陽テクニカは 1953 年の創立以来、世界最高水準の“はかる”技術の提供をコアコンピタンスとし、最先端の測定機器の輸入販売と自社開発製品の提供によって、官公庁、大学ならびに企業の研究開発を支援してきました。技術分野は、情報通信、自動車計測技術、環境エネルギー、EMC（電磁両立性）試験、海洋調査、ソフトウェア開発支援、ライフサイエンスなど幅広く、米国や中国の現地法人などを通じて世界にも提供しています。また、2016～2017 年にかけて新しい 3 組織「セキュリティ&ラボカンパニー」「技術研究所」「ワン・テクノロジーズ・カンパニー」を設立。サイバーセキュリティサービスの提供、自動運転車の開発支援、AI（人工知能）を使ったデータ解析など、新しいソリューションの創造に取り組んでいます。

「“はかる”技術で未来を創る」のスローガンのもと、これからも産業界の発展と安全で環境にやさしい社会づくりに貢献してまいります。

株式会社東陽テクニカ Web サイト：<https://www.toyo.co.jp/>

★ 取材のお申込み、および本リリースに関するお問い合わせ先 ★

株式会社東陽テクニカ 経営企画部

TEL：03-3245-1081（直通）

E-mail：kikaku@toyo.co.jp

※本ニュースリリースに記載されている内容は、発表日現在の情報です。製品情報、サービス内容、お問い合わせ先など、予告なく変更する可能性がありますので、あらかじめご了承ください。

※記載されている会社名および製品名などは、各社の商標または登録商標です。